

令和2年度使用教科書（小学校用教科書）採択方針について

令和元年5月29日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和2年度使用教科書（小学校用教科書）採択方針

令和2年度使用教科書（小学校用教科書）の採択においては、石川県教育委員会の採択方針に基づき、次のとおりとする。

- 1 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。
- 2 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。
- 3 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。
- 4 金沢市や児童の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなされていること。

令和 2 年度使用教科書（小学校「特別の教科 道徳」）採択方針について

令和元年 5 月 2 9 日 提出

金 沢 市 教 育 委 員 会
教 育 長 野 口 弘

令和2年度使用教科書（小学校「特別の教科 道徳」）採択方針

令和2年度使用教科書（小学校「特別の教科 道徳」）の採択においては、石川県教育委員会の採択方針に基づき、次のとおりとする。

- 1 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。
- 2 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。
- 3 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。
- 4 金沢市の児童の実情に即し、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。
- 5 各教科、英語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。
- 6 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- 7 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が児童の発達段階に適応していること。

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問（令和2年度
使用教科書（小学校用教科書））について

令和元年5月29日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

諮 問（案）

金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱第4条第1項に基づき、次の事項について、金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に諮問します。

令和2年度使用教科書（小学校用教科書）の採択について

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会は、金沢市教育委員会の採択方針に基づき、教科用図書調査委員会及び各学校の教科用図書研究委員会の報告並びに教科書展示会を通しての一般市民の意見を踏まえ、金沢市教育委員会に教科用図書の採択に係る意見を答申願います。

なお、答申にあたっては、下記の事項に留意されるよう願います。

令和元年5月 日

金沢市教育委員会

記

- 1 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除き、小学校用教科書は、「小学校用教科書目録」（令和2年度使用）に登載されている調査研究対象となる教科書について答申すること。
- 2 教科書研究にあたっては、学習指導要領の趣旨に留意し、次の観点にたって、すべての教科書について綿密な調査研究を行い、種目ごとに採択に係る意見を答申すること。
 - （1）基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。
 - （2）思考力・判断力・表現力等を育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。
 - （3）児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。
 - （4）伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。
 - （5）現代的な諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られること。
 - （6）教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
 - （7）本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが、児童の発達の段階に適しており、文字の書体の大きさ、図版等の印刷が適切であること。
 - （8）金沢市の児童の実情に即し、金沢ベーシックカリキュラム等を踏まえた指導との関連が図られていること。
 - （9）「自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル」に基づく学習が展開できるような構成や工夫が図られていること。

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問（令和2年度
使用教科書（小学校「特別の教科 道徳」））について

令和元年5月29日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

諮 問（案）

金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱第4条第1項に基づき、次の事項について、金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に諮問します。

令和2年度使用教科書（小学校「特別の教科 道徳」）の採択について

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会は、金沢市教育委員会の採択方針に基づき、教科用図書調査委員会及び各学校の教科用図書研究委員会の報告並びに教科書展示会を通しての一般市民の意見を踏まえ、金沢市教育委員会に教科用図書の採択に係る意見を答申願います。

なお、答申にあたっては、下記の事項に留意されるよう願います。

令和元年5月 日

金沢市教育委員会

記

- 1 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除き、小学校用教科書（「特別の教科 道徳」）は、「小学校用教科書目録」（令和2年度使用）に登載されている調査研究対象となる教科書について答申すること。
- 2 教科書研究にあたっては、学習指導要領の趣旨に留意し、次の観点にたって、すべての教科書について綿密な調査研究を行い、採択に係る意見を答申すること。
 - （1）考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。
 - （2）問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。
 - （3）主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。
 - （4）金沢市の児童の実情に即し、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。
 - （5）各教科、英語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。
 - （6）教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
 - （7）本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が児童の発達の段階に適応していること。

金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱

(目的)

第1条 この要綱は、金沢市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、金沢市立義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択について公正且つ適正な実施を図ることを目的とし、採択取扱に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「教科用図書」とは、学校教育法第34条第1項（同法49条及び第62条において準用する場合を含む。）及び同法附則第9条に規定する教科用図書をいう。

(金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会の設置)

第3条 教育委員会は、第1条の目的を達成するため、金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を置く。

(教科用図書の採択)

第4条 教育委員会は、金沢市立義務教育諸学校で使用する教科用図書を採択しようとする場合は、選定委員会の意見を聴かなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書が無い場合は、教育委員会は、現行の教科用図書を採択した際の選定委員会の答申書をもとに、採択を行うことができるものとする。

(教科用図書調査委員会及び教科用図書研究委員会の設置)

第5条 選定委員会は、専門の事項を調査研究させるため、教科用図書調査委員会（以下「調査委員会」という。）及び各学校に教科用図書研究委員会（以下「研究委員会」という。）を置く。

(選定委員会の役割及び構成)

第6条 選定委員会は、教育委員会の諮問に応じ、調査委員会及び研究委員会の報告に基づいて審議し、教育委員会に教科用図書の採択に係る意見を答申する。

2 選定委員は12名以内とし、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 金沢市P T A協議会役員

(3) 学校関係者

3 教科用図書の採択に直接の利害関係を有する者は、選定委員となることができない。

4 選定委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1名置く。

5 委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれらを選任する。

6 委員長は、会務を統括する。

7 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(選定委員会の会議の招集)

第7条 選定委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

(調査委員会の委員の委嘱)

第8条 調査委員会の委員は、選定委員会が委嘱する。

(選定委員及び調査委員の任期)

第9条 選定委員及び調査委員の任期は当該年度末までとする。

(公表等)

第10条 教育委員会は、金沢市立義務教育諸学校で使用する教科用図書を採択したときは、次に掲げる事項を公表するものとする。

(1) 当該教科用図書の種類

(2) 当該教科用図書を採択した理由

(3) 教科用図書の研究のために作成した資料

(4) 当該教科用図書の採択に係る教育委員会の会議の議事録

(5) その他教育委員会が適当と認める事項

2 教育委員会は、前項各号に掲げる事項以外の事項について、金沢市情報公開及び個人情報保護に関する条例（平成3年条例第2号）第6条の規定に基づき公開請求があったときは、金沢市情報公開及び個人情報保護に関する条例の規定に基づき、公開するものとする。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年5月8日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、平成17年5月17日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、平成20年6月26日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、平成26年5月28日から施行する。

附 則（一部改正）

この要綱は、平成30年6月26日から施行する。

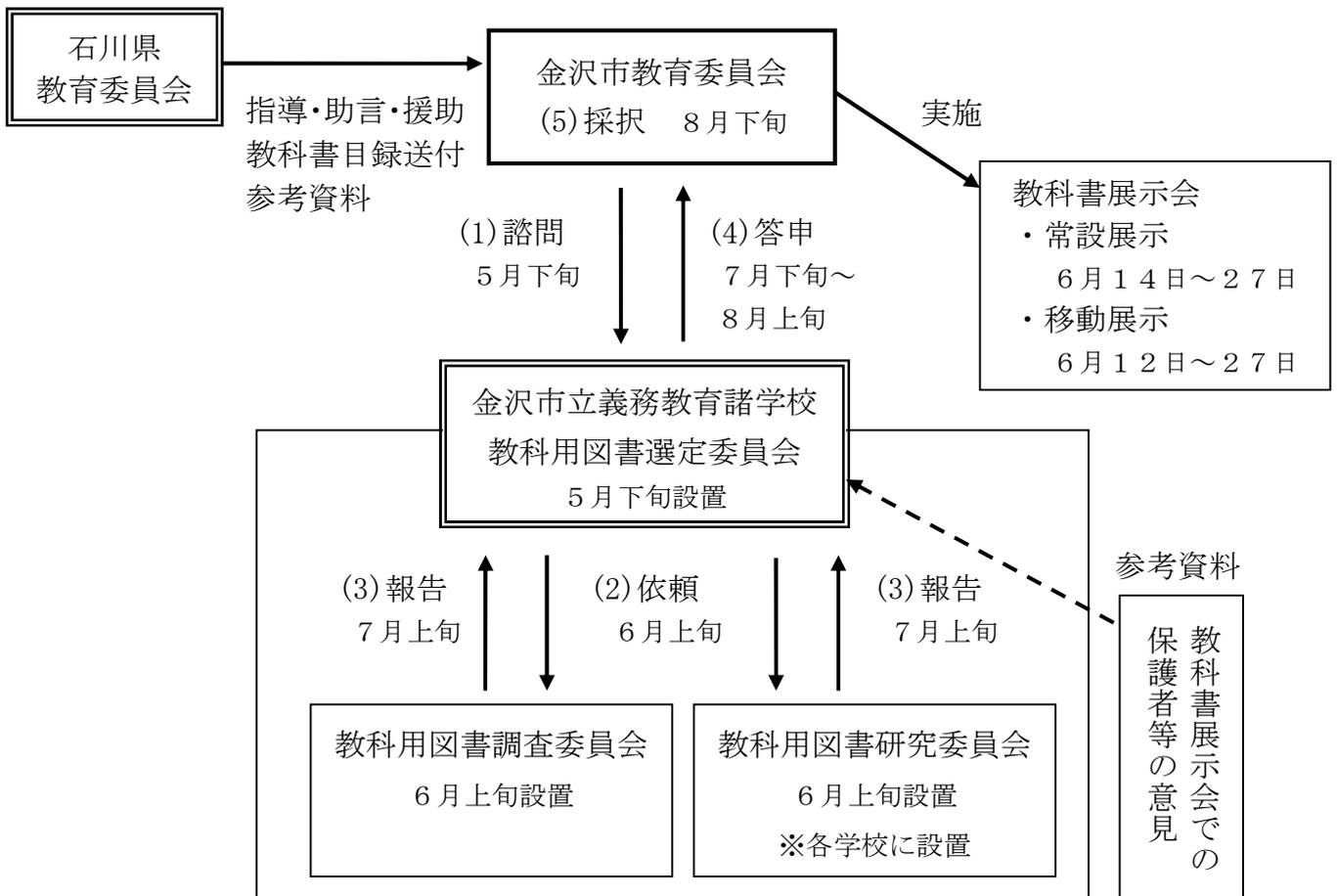
令和2年度使用教科書の採択について

令和2年度から使用する小学校の教科用図書の採択にあたり、本市においては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」等の関係法令及び「金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱」に基づき、採択事務を進める。

[採択の手順]

- (1) 金沢市教育委員会（以下「教育委員会」）は、金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」）を5月下旬に設置し、教科書採択に係る意見の答申を諮問
- (2) 選定委員会は教科用図書調査委員会（以下「調査委員会」）及び各学校に教科用図書研究委員会（以下「研究委員会」）を6月上旬に設置し、専門的事項の調査研究を依頼
- (3) 調査委員会及び研究委員会は、選定委員会に対し研究結果等を7月上旬に報告
- (4) 選定委員会は、教科書展示会における保護者や市民等の意見も参考としながら、採択すべき小学校用教科用図書の優れている点についてまとめ、7月下旬から8月上旬に教育委員会に答申
- (5) 教育委員会は、この答申を踏まえ、採択すべき教科書を8月下旬に決定

※ 採択結果は9月上旬に公表予定



令和2年度使用教科書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く））の採択事務について

令和元年5月29日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和２年度使用教科書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く））の採択事務について

令和２年度使用教科書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く））の採択事務処理について、下記のとおり簡略化を図る。

1 採択事務簡略化の内容

- (1) 金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を設置しない。
- (2) 教科用図書調査委員会及び教科用図書研究委員会を設置しない。

2 理由

今年度は、教科用図書採択年度であるが、以下の理由から採択事務の簡略化を図る。

- (1) 新たに文部科学大臣の検定を経た中学校用教科書がないこと。
- (2) 文部科学省より「２０２０年度使用中学校用教科書については、例年どおり、採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、適切に採択が行われることが必要となるが、その際、４年間の使用実績を踏まえつつ、平成２７年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられること。」との通知があったこと。（３０初教科第３３号 平成３１年３月２９日付）
- (3) 石川県教育委員会より「２０２０年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」を除く）については、新たな文部科学大臣の検定を経たものがないので、石川県教育委員会が作成した『平成２８年～３１年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料』、文部科学省において集録作成した『教科書編修趣意書』等を活用すること。」との通知があったこと。（教学第８８号平成３１年４月１９日付）
- (4) 「金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱」第４条２項に「前項の規定にかかわらず、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書が無い場合は、教育委員会は、現行の教科用図書を採択した際の選定委員会の答申書をもとに、採択を行うことができるものとする。」と示されていること。
- (5) 現在発行の教科用図書は平成２７年度に十分に調査研究がなされたものであること。

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命について

令和元年5月29日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

金沢市立義務教育諸学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命について

金沢市立義務教育諸学校教科用図書採択取扱要綱第6条第2項の規定に基づき、次のとおり委員を委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

学識経験者	加藤 隆弘	金沢大学人間社会学域学校教育学類准教授
	松原 道男	金沢大学人間社会学域学校教育学類教授
金沢市P T A協議会役員	相羽 大輔	金沢市P T A協議会副会長
	松川 千絵	金沢市P T A協議会副会長
学校関係者	押野 正憲	金沢市立伏見台小学校長
	中越 尚志	金沢市立鞍月小学校長
	松永 法子	金沢市立千坂小学校長

(五十音順 敬称略)

2 任期

令和元年5月31日から令和2年3月31日まで